

東京教区時報

第1214号
2011年7月3日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇7月の代禱・信施奉献先
▽海の主日 (7月第2主日7・10)
▽アジア学院の働きのため
▽聖公会八王子幼稚園のため
▽女性の家H E L Pのため
▽滝乃川学園のため

▽立教大学教会音楽研究所レクチャーコンサート「詩編による祈りI「苦しむものが主に叫ぶと神は聞き」 15日(金) 17時半、立教学院諸聖徒礼拝堂。
講師 上田亜樹子、オルガン 崎山裕子、指揮 スコット・シヨウ、奉唱 同礼拝堂聖歌隊。
無料、照会 03(3985)2786・同研究所。

▽7月聖路加国際病院礼拝堂《夕の祈り》 6日(水) 18時半、オルガン演奏に引き続き19

時から。演奏者 川越聡子。入場無料(会場献金)。

▽7月フランチタイム・オルガンコンサート *聖、ウロ 8日(金)、国分桃代 *聖テモテ 19日(火)、松原千春・土澤裕子(フルート) *神田キリスト 20日(水)、小野田美奈 各々12時20分から30分程度、入場無料。

▽一羊会「人権を守る集まり」ドキュメンタリー映画「作ら

今週・来週の予定
7月3日~16日

- 3(日) 聖霊降臨後第3主日 主教巡回 東京聖テモテ教会
- 4(月) ハラスメント防止委員会 会
- 6(水) エルサレム協働：女性部会 聖職養成委員会
- 8(金) 広報委員会
- 10(日) 聖霊降臨後第4主日 主教巡回 渋谷聖ミカエル教会
- 12(火) 銀座朝禱会 礼拝音楽：聖歌キャ
- 14(木) 常置委員会 常置委員会 財政委員会 教財務サービス委員会
- 15(金) 教役者会幹事会

れる自白「志布志の悲劇」を観て意見交流。9日(土) 10時半、東京聖三一教会。照会 042(393) 2256・森田。
▽難キ連チャリティコンサート「トルシア塩満アルパトリオ」 9日(土) 14時、日本福音ルーテル社団ジェラミッシュンセンター1階。2千円(国内難民支援活動のため)。照会 03(3207)7801・同事務局。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

私には、今もときたま訪ね、人生の助言を受ける一人の師匠がいます。この先生のお話を今も忘れることができません。

「頭がいいことは心がいいことに、心がいいことは手がいいことに、手がいいことは足がいいことに及ばない。観察よりは愛情が、愛情よりは実践的な連帯が、実践的な連帯よりは同じ立場になることがもっとも重要だ。それこそ関係の最高の形だ」。どれだけ意味深いお話でしょうか。また先生は、次のような素晴らしいたとえ話もしてくださいました。

《み手のなかで》

同じ立場になること

司祭 金 大原 (キム・デウオン)

やることだ。すなわちこの友達と同じ立場になってやることだ。皆が「立場を変えて考えること」とよく言いますが、この先生は「同じ立場になること」と言っていました。

実は、キリスト教の宣教もこれと同様ではないでしょうか。栄光ある権利を放棄し、この世に人間の立場になって来られたイエスのように、宣教の対象者の立場に立つことから宣教は始まります。相手の立場を無視した宣教は、ややもすれば暴力にもなりかねません。キリスト教は長い歴史の中でたびたびそのような失敗をしてきました。

私は今もこの教えを尊く思い、肝に銘じています。いつもどんな立場に立っているのかを振り返りながら。

(立教大学チャプレン)

常置委員会報告(6月21日)

* 14〜16日被災地訪問と祈りのために仙台で主教会、7月13日に管区事務所で開催主教会を開催、成成鍾司祭・朴美賢司祭の釜山教区からの移籍(4月1日付)、立教大学チャブレン派遣期間(最長3年3期)を確認、聖公会平和会議(沖繩)を延期、聖保連大会を延期し12年に東京で開催、7月23日臨時教区会開催など主教報告。

* ヤコブ八代崇主教の感謝記念礼拝とヤコブ文庫の終了、小笠原聖ジョージ教会主教巡回は12月4日、浅草聖ヨハネ教会に関する課題への取組、高橋宏幸司祭は香蘭女学校校宅へ転居、財務諸表、関係幼稚園の決算確認中など、主教チャブレン・各主

事等の報告を了承。卓志雄司祭

から宣教主事就任挨拶。

* 6月14日震災支援対策本部会議においてアジア学院への支援につき協議、諸聖徒教会将来計画についてなど、委員報告。

* 第116(臨時)教区会議案など協議。

* その他

信仰と生活委員会報告

(6月17日)

* 宣教主事・各委員会・教会グループ等報告。

* 臨席の大畑主教より当委員会へのコメントを頂いた。

* 6月4日に実施された「こどもの聖歌を歌う会」の振り返りと今後について協議。

* 中高生キャンプのスタッフ募集・参加者募集チラシの作成な

ど役割分担。

* 卓司祭の宣教主事転出に伴う後任の委員について協議。

【東日本大震災関連】

チャリティコンサート

▽聖マーガレット教会 7月10日(日) 14時半、同教会。出演||アリルイヤ合唱団ほか、神尾昇指揮による4合唱団。無料(会場献金)。照会☎03(3334)2812・会場教会。

▽ぶぶづつのにえ〜七色の靈感・七色の調和・七色の懸け橋 7月18日(月・休) 15時、聖アンデレ教会。出演||堀江真理子と仲間たち。入場料||前売り2千5百円(当日3千円)、小学生千円。照会☎03(5395)9128・事務局・鶴飼。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】88

6月11日 東日本大震災

3カ月記念聖餐式

東北教区主教座聖堂仙台基督教会・教区会館ビンステッド記念ホールにて、東北教区と各教区代表、信徒と関係者約175人が集まり、司式東北教区加藤博道主教、共同司式北関東教区廣田勝一主教、涌井康福司祭を式典長とする東北教区聖職団により記念聖餐式が捧げられた。

説教は、植松誠首座主教で、「3月11日で、生活は大きく変わり、人生の意義が揺さぶられている。生きるとは何か。真の豊かさとは何か、が問われている。3月に被災地の現場を見て以来、夢ではないかと思うことも。しっかりとせねばならぬと、

東北教区のために祈っている。

今年東北教区は、120周年にあたり、福音宣教の将来が語られていた。今、この宣教のビジョンに新たな意味付けが与えられている。神は何故見捨てられこのような苦難を与えられるのか。イエスは、絶望から復活という希望を成し遂げられた。数百年先のために、ただただガレキを取り除きながら、世界から寄せられる祈りに応えて、愛と信頼の門出をいっしょにして行こう」と語りかけられた。

犠牲者が出た磯山聖ヨハネ教会(東北教区の研修所やキャンプ場もあった)の愛唱聖歌、213番―実れる田の面は、そして、476番―暗闇行く時は、主イエスが示された、輝く

星を求め、光に顔向けよう」と歌った。午後2時46分には東日本大震災による全ての犠牲者を覚え、黙祷を捧げた。続いて、亡くなられた被災者の親族や幼児・幼稚園関係者も含め、各教区からの代表参加者と、交わりのひとときを共にした。

「いっしょに歩こう! プロジエクト」は、この日、全教区一体に統合・強化されて、スタッフ達と教会のすぐ近くの「仙台オフィス」の紹介がなされた。

広範囲の働きに、東京教区支援対策本部は、物資・人的支援を将来の方向性を念頭に置きながら果たしてゆきたく、皆様のご支援ご協力をお願いします。

東京教区対策本部副本部長
片岡大造